

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

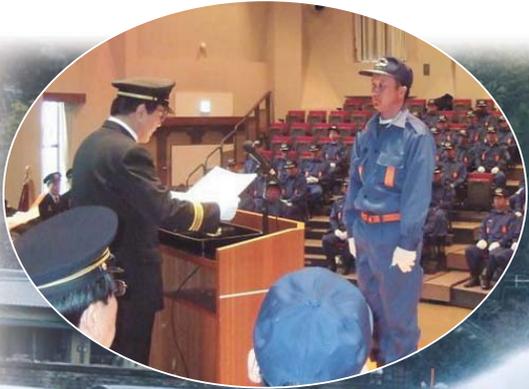
からうら

No.42

2008.1.30発行

病院企業債
繰り上げ償還 — 2
視察研修報告 — 3
委員会ハイライト — 4

全議員が一般質問 — 5 ▶ 13
はばたけ
ちびっ子アスリート — 14
(生比奈少女バレーボールクラブ)



勝浦消防団 出初め式

一般会計補正予算

1億4,398万円を可決

総額 32億392万円に

12月定例会



改築時の企業債を全額償還

勝浦病院事業特別会計について

昭和55年に病院改築費として5億5,670万円(償還期間30年、利息8%)を借り入れました。平成22年に終了する予定が、今回の地方財政法の一部改正により繰り上げ償還が認められ、これによって利息が約2千万円節約することが出来ます。

議員提出議案

●後期高齢者医療制度に関する意見書

七十五歳以上の被用者からの保険料は凍結し、それに伴う財源は国が確保することなど

提出先

内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長など

答

職員が適切に活用出来るように、また、住民サービスの低下にならないように心がけたい。

問

職員の育児休業などの条例の一部改正について、職員数削減による周囲への影響を考え、休暇の申請が出しにくいのでは。

答

リハビリと老人デイケアの施設で平成三十八年まで年間約八百万円の予定。

問

病院企業債の約一億三千六百万円繰り上げ後の返済予定金額は。

議案に対する主な質疑

勝浦病院

企業債償還残高

一億三千五百八十四万八千円を

繰り上げ償還

十二月十二日から二十一日までの十日間開かれ、「勝浦町国民健康保険税」、「職員の育児休業」、「職員の勤務時間、休暇」、「職員の給与」に関する条例の一部改正や勝浦病院の企業債の繰り上げ償還などについて審議し、全員一致で可決しました。

西田 誠氏(棚野)の任命に同意しました。

教育委員会委員

平成18年度 一般会計決算 32億8,095万円などを認定

9月定例会で総務産建常任委員会に付託されていた、平成18年度各会計の決算について、松田委員長から「特に留意すべき事項」を付け認定すべきと報告があり、質疑の後、全員一致で認定しました。

〈主な留意事項〉

- 総務税務課** 南海地震に備え、消防団と自主防災組織との連携を密にして防災意識の向上を。
- 住民課** ごみの分別・リサイクルを進め、更なるごみの減量化を。
- 産業建設課** 土木費の繰越が多く見られるが、適切な予算執行を。
- 福祉課** 生活習慣病を含め予防啓発の更なる取り組みを。
- 教育委員会** 学校と地域の連携を密にして、児童・生徒の安全確保に努める。
- 勝浦病院** 経営コンサルタントの指導を受けるなど、長期的な方針を立てること。

視察研修報告

【総務産建常任委員会】
○十一月二十一日～二十二日

防災による まちづくり

札幌市澄川地区

澄川地区は以前、「暴力団排除」に成功した実績、自信から、住みよいまちづくりのために「快援隊」というボランティア組織を立ち上げ取り組んでいる。

自主防災訓練を単独で行うのではなく、祭りや地区運動会などの行事の中に併せて参加しやすくしたり、実際の救助活動や将来の展望から、中学生を対象にした訓練を実施している。

さらに交通安全協会、老人会、商工会などとネットワーク化している。

最後に、「災害はいつ起こるか分からないが、今、起こるかもしれない」と話していた大石会長の言葉をしっかりと受け止め、勝浦町における今後の防災対策の参考にしたい。

議会改革

「議会基本条例」を制定

夕張郡栗山町

全国で初めて「議会基本条例」を制定し、住民に議会活動や新鮮な情報を提供するために、町民や団体との意見交換の場として議員主催による一般会議の開催、本会議のライブ中継などを実施している。

また、本会議場では対面形式をとり、一問一答による一般質問の実施、議員の質問に対する町長や町職員の反問権を認めている。

「二元代表制の地方自治において、議会基本条例はごく当たり前のこと」と説明した橋場議長と、中尾事務局長の言葉に自信と気迫がみなぎっていたのが印象的で、本町においても議会活性化のため取り組む必要性を感じた。



防災システムの説明を受ける

総務産建常任委員会

育児のための 短時間勤務を制度化

十二月三日に委員会を開き、十九年度補正予算や職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例について説明があり審議しました。

参事から 勝浦病院の公営企業債を繰り上げ償還することによる金利負担の軽減や、地区集会所の改修工事に関する補正予算と、公務員に係る育児のための短時間勤務制度について説明がありました。

問 今回、繰り上げ償還が認められたのは、どのような背景からか。

答 地方から国に対しての強い要望で「地方財政法」が一部改正され、一括償還が可能になった。

問 民間では公務員のように短時間勤務が可能な制度を導入する環境にない。官民格差にならないか。

答 国の少子化対策として公務員から始めよという方向である。住民サービスの低下にならないよう努める。

委員会として 十二月定例会に提案することに了承しました。



導入予定の鼻から入れる内視鏡

文教厚生常任委員会

保育所民営化を審議

十二月五日に委員会を開き、十九年度補正予算、条例の一部を改正する条例、保育所の民営化について説明があり審議しました。

病院事務局長から 公営企業債の繰り上げ償還のための補正予算や、病院の改善計画について説明がありました。

問 病院の改善方針として、来年度の予算に反映する予定のものはないか。

答 鼻から入れる内視鏡の購入と特定健診の予算を計上したい。

福祉課長から 保育所民営化検討委員会の答申を受けて、町の基本方針について説明がありました。

問 現在、勤務している保育士の身分保障は。

答 身分は保障される。今後、保育士の意見をよく聞き対応する。

問 受け皿となる社会福祉法人に対して入札時の応募が少ない場合、ハードルを下げるということにならないか。

答 保護者のニーズに応え、保育内容は十分確保する。

委員会として 十二月定例会に提案することを了承しました。

年頭に当たって



議長 川端雅夫

輝かしい新春を迎えお慶び申し上げます。

議員も改選後十人になりましたが、議会本来の使命を十分認識し、町民が安心安全で暮らせるよう一丸となって、頑張りたいと思っております。今後ともよろしく願います。

勝浦町議会

「道の駅」 全体構想を示せ

検討委員会で協議し策定
(副町長)

大西 一司 議員



問 生名の県道沿いに「道の駅」建設計画が持ち上がっているが、どのような内容なのか全体構想を示せ。

答 副町長 県はトイレ・駐車場・道路情報提供施設・案内板等を設置予定で、十九年度中に測量を完了し二十年度実施設計、二十一年度着工

予定だ。今後、検討委員会を立ち上げ全体構想を策定して行きたい。
答 町長 町の産業・文化の交流拠点として地域活性化の起爆剤となるよう多くの意見を

聞き、より良い方向性を見出して行きたい。

保育所民営化
広く協議すべきだ

委員会を六回開いている (福祉課長)

問

民営化検討委員会は、七月から十一月までの協議で結論が出ているが十分合意形成されているのか。住民や議会にも広く協議すべきでなかったのか。

答 福祉課長

検討委員会を六回開催し、十分議論され民間移管すべきとの答申が出された。

答 町長

今後、移管要領等の中身をしっかりと議論し保護者等に不安のないよう説明会を開き推進して行きたい。



中田町長

県道鶴林寺線
供用開始の見通しは

現時点では難しい (町長)

問

生名鶴林寺線の供用開始の取り組み状況と今後の対応は。

答 町長

登記作業が進まず厳しい状況だ。県には状況説明し供用開始の要望をして来たが、現時点では難しいとの回答だ。世界遺産登録の協力依頼もあり、本町にとり重要路線と認識しており、狭あい部分については町単工事により改良を進めて行きたい。

町単道路
改良費の増額を

来年度予算で検討する (町長)

問

町単道路改良は昨年度要望の六十%の着工しかない。町の活性化にもつながる予算を増額しては。

また、年度末に工事が集中しないよう平準化出来ないか。

県道の柳原工区は着工が遅れているがいつ着工するのか。

答 町長

町道改良は厳しい財政であるが、来年度予算で検討していきたい。

答 産業建設課長

区長からの取りまとめを早めるなどスムーズな事務執行に努めたい。
柳原工区の着工は二月の予定となっている。

■その他の質問

○勝浦高校存続問題



「道の駅」イメージ図

「道の駅」 農商工連携について

産業文化の交流拠点に（副町長）

国清 一 治議員



問 町の基幹産業である農業従事者の高齢化と担い手不足が続いているなかで、具体的な後継者対策が進んでいない。

一方、建設業や商工業では仕事も少なく、長引く不況から従業員を支えきれない状況にある。これら農商工が連携することによって地域が活性化し、雇用の創

出にもつながるのではない

か。また、連携を進めるうえで「道の駅」は絶対に必要であるが、現在の進行状況は。

答 産業建設課長

高齢化、過疎化が進むなかで農商工連携は必要であり、すでに「ふれあいの里さかもと」や「よつてネ市」などで実践し成果をあげている。



折野副町長

答 副町長

「道の駅」は、農商工を機能的に連携させ町の産業文化の交流拠点とし、集客が見込める町の活性化の起爆剤となる施設である。現在、用地関係者との協議や検討委員会立ち上げに向けて進めている。

**行政改革
地区等の再編は**

**問題があれば協議
する（町長）**

問 現在、地区は十六あり、行政施策推進

にはなくてはならない地域

コミュニティである。しかし人口減少により、地区間人口規模で五〜六倍の差が出ており、各種団体の役員が出来ないなど問題も出ているが、再編を考えたことはないのか。

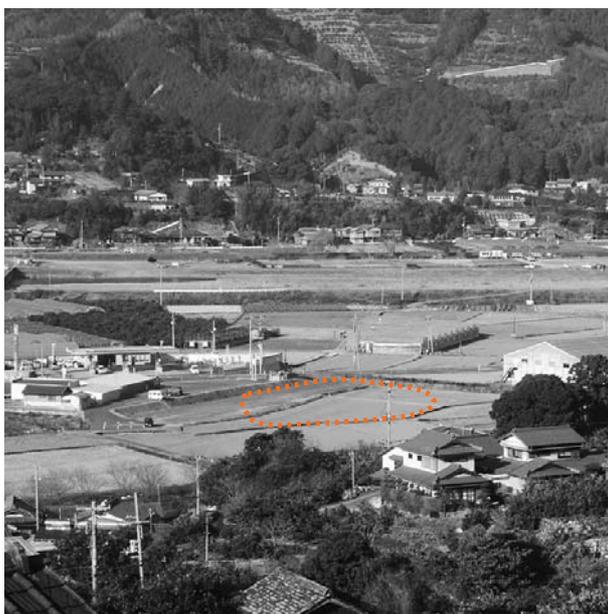
また、人口減少がさらに進むと小さな地区の存続が危ぶまれる。集落名を残す方法で検討してはどうか。

答 参事

地域差はあるが、大きな問題は出ていない。現状を守って行きたい。

答 町長

現在のところ地区の崩壊



「道の駅」建設予定地

につながっているとこはないが、問題があれば協議して行きたい。

**これからの勝浦
市町村合併は**

**中核市を目指す
（町長）**

問

町の集中改革プランや町長の所信表明でも「市町村合併の推進」を主要事項としているが、合併断念から二年十か月が過ぎ具体的な議論は全くされていない。住民から「あれからどうなったのか、今後どうするのか」との声を多く聞かすが、現時点での町長の考えは。

答 町長

合併は必要であり避けては通れない。県の合併推進審議会から三つの案が出されているが、町としては徳島市を中心とした「中核市」をめざしたプランが望ましい。

二十年度一般会計予算

基本方針は

財政健全化に取り組む(町長)

節 公 一 議員



問 長い間、財政健全化を最重要課題として予算が組みられ町政を執行してきた。この間町民はずっと我慢してきた結果、数年後には財政指標もかなり改善される見通しとなってきた。

二十年度の予算は従来通りの緊縮予算で行くのか。先送りされてきた町道整備

等に配慮するのか。基本方針は。

また、将来の町づくりに向けた新規事業の計画はあるのか。

答 町長

来年度の地方交付税が不透明な現時点では、引き続き財政健全化に向けて歳出削減に取り組みたい。

予算規模としては今年度並みになる見通しである。

町道の整備については町民の生活道路としての重要性は十分認識しており、区長会を通じて対応しているが、来年度要望が多ければよく検討して行きたい。

将来の町づくり計画として「道の駅」を活用した農商工の連携を図る事業など

に積極的に取り組みたい。

IP電話の利用促進を

問

全国的に固定電話から料金が割安なIP電話への移行が進んでいる。IP電話に換えると年間約三万円近くの節約が出来るが、現在、勝浦町ではIP電話はあまり利用されていない。

もっと利用促進を図るため、性能の改善や一一〇番などへの緊急通報、番号ポータビリティ(※)などのサービス向上を業者に働きかけるべきではないか。

また、二十一年十一月に勝浦町で開かれる「地域ICT未来フェスタ」を機会にIP電話の便利な使い方を周知したらどうか。

答 参事

インターネットを使ったツトを使った光電話では固定電話と同品質の性能やサービスが可能であるので、勝浦町のIP電話も問題点を解消して行



戸川参事

答 副町長

「地域ICT未来フェスタ」ではIP電話にとられず、最新のIT機器の展示やイベントを通して町民に新しい情報通信の世界を身近に親しんでもらいたい。

(※)番号ポータビリティとは従来の固定電話にかけると自動的にIP電話につながるサービス。



料金が割安なIP電話

後期高齢者医療制度 保険料は

広域連合議会で決定(福祉課長)

森本 守議員



問

平成二十年四月から後期高齢者医療制度が始まるが、町長は広域連合議会において、問題点等についてどのような質問をしたのか。

また、保険料はどの程度になるのか。

答 町長

十一月に開かれた広域連合議会臨時会において制度

の広報活動、保険料の減免制度などについて質問をした。

答 福祉課長

保険料については広域連合議会において決定している。所得割率が基準所得額の七・四三%で均等割は年間四万七千七百七十四円となっている。

個々の保険料額については被保険者人数、世帯の状況によって異なるが、被保



岩佐福祉課長

険者一人と仮定すると月額
は次の表のようになる。

(単位：円)

年金額	153万円以下	160万円	200万円	240万円	300万円
所得割額	0	433	2,910	5,387	9,102
均等割額	1,019	1,019	2,718	3,398	3,398
保険料総額	1,019	1,452	5,628	8,785	12,500
均等割減額	7割軽減	7割軽減	2割軽減		

※所得割額と均等割を合わせた年額で賦課されるので、月額は端数の関係で異なる場合がある。

低所得者については、均等割り部分が、所得に応じて二割から七割減額される。

防災対策 危険な箇所は

現地調査を実施
(産業建設課長)

問

過去に集中豪雨が
発生したとき、沼江

不動前付近は濁流が道路を
乗り越え災害が発生してい
る。県道が不通となったり、
堤防が壊れたりする危険な
箇所は。

また、災害が発生したと
きは、まず自分の身を守る
ことが一番だが、地震等に
より家具が転倒し身に危険
を及ぼすことが想定される。
各家庭において、その対応
はどの程度出来ているか。

答 産業建設課長

危険箇所については災害
復旧事業等により取り組ん

であり、昨年度には金比羅
堤防の補強工事を実施した。
また、県と現地調査を実
施し、沼江不動前付近につ
いても一部復旧をお願いし
ている。

答 参事

地震対策と
しての各家庭
の転倒防止金具等の取り付
けについて調べていないが、
十分でないと考えている。
今後、広報や防災訓練等
を通じ意識を高めることに
努力したい。



過去に災害が発生している沼江不動前付近

戦略的農業経営 具体策は

専門技術員を検討(町長)

山野忠男議員



産技術対策、高品質化対策、マーケティング対策などに
取り組んでいる。

答 町長

専門技術員については、
貯蔵みかんのブランド戦略
のなかで新年度に向けて検
討して行きたい。

大平谷土砂投棄

災害防止策は

台風時等には安全確保 (産業建設課長)

問

与川内地区大平谷
に三万トン以上の土
砂が投棄され、地元はもと
より下流の横瀬地区にも大
災害が予想されるが、町の
災害防止策は。

答 産業建設課長

今年度産のみかん
は豊作で、平均単価
七十七円くらいの安値で推
移している。
みかん農家再生のため、
専門技術員の導入や具体的
施策を。
勝浦みかんの経営安定策
としてブランド化対策、生

答 産業建設課長

災害防止策として、台風
等の警報発令時には担当職
員や地元の協力を得ながら、
見回りや通行止めなど安全
確保に努めている。

学校教育 教職員のチエツクは

教員評価制度を実施 (教育長)

(教育長)

問

少子化が進み次世
代を担う若者に対す
る期待は大きく、学校教育
がますます重要となってい

るが、教員評価のチエツ
ク機能は。

また、いじめや不登校の
実態とその対応は。

答 教育長

指導力の
ある教員の
チエツクとして勤務評定が
あり、さらに自己評価、他
者評価の教員評価制度が出
来ている。

また、教育委員会等の学
校訪問と学級訪問を実施し
ている。

答 教育委員会事務局長

深刻ないじめ、不登校の
報告はない。
また、対応についてはス



貯蔵みかんの管理

クールカウンセラーの配置
や窓口相談の開設、県教委
の電話相談、人権擁護委員
の相談窓口などがある。

不登校の児童・生徒に対
しては「花みずき学級」が
開設されている。



稲井教育長

ごみ焼却場 跡地整理は

地元と十分協議する (町長)

問

焼却場の跡地整理
について、地元住民
からダイオキシンの汚染さ
れている恐れもあり、早く
撤去してほしいとの声もあ
る。町の対応は。

答 町長

跡地利用に
ついては町の
方針を決めて、地元立川地
区の連絡協議会と十分協議
をして行きたい。

沼江バイパス 今後のスケジュールは

二十年度から用地交渉
(産業建設課長)

森 健 議員



査完了後、新年度から用地交渉に入る。
二月ごろには関係者に今後のスケジュール等を説明する会議を開催したいと考えている。

問 現在の進ちよく状況と今後のスケジュールは。

また、地域関係者との協議予定は。

答 産業建設課長

現在、県において図面を作成中で、年明けに家屋及び耕作物等保証物件の調査に着手する予定である。調

地方再生戦略 取り組みは

問

勝浦町には六十五歳以上が過半数を占める「限界集落」や、五十五歳以上が過半数を占める「準限界集落」の地域はあるのか。

また、高齢者の多い勝浦町では、国の「地方再生戦略」にどのように取り組むのか。

答 参事

町全体の六十五歳以上の人口比率は三十三%であるが「限界集落」はまだない。「準限界集落」は五カ所ある。

答 副町長

「地方再生戦略」は総理大臣を本部長とする政府の地域活性化統合本部が決定した。

この戦略は、過疎自治体



交通量の多い沼江バイパス

原油高の町財政 への影響は

問

原油の高騰が続いているが、町の事業や委託先への影響は。

答 給食センター所長

学校給食の調理加工費に影響しているが、必要な栄養価の低下までには至っていない。予算内で収まる見通しである。

答 住民課長

可燃焼却を小松島市に委託しているが、五年契約なので影響はない。

町内の収集運搬業務も現在変更は考えていない。



松田住民課長

子育て支援策 新たに取り組む事業は

妊婦検診費の助成を拡充 (町長)

松田貴志議員



問 子育て支援策として二十年度予算編成に向け、新たに事業化するものはあるのか。

答 町長 乳幼児医療など積極的に子育て支援に取り組んできたが、来年度からは妊婦検診費の助成を現在の二回から五回程度に拡充し、検診の必要性を広報

等で周知して行く。

保育所民営化 サービスが 後退しないように

問 民間委託の移管先を選定する過程において、公募条件を変えるなどサービスが後退しないように。

また、ファミリーサポートセンターを設置し、共働き世帯などの育児支援を行うてはどうか。

答 町長 利用者の立場に立って条件等のハードルを下げることなく、二十二年からの完全移管に向け取り組んで

行く。

また、ファミリーサポートセンターについては、徳島東部地域市町村長懇話会の場でも協議された経過もあり、きめ細かい子育て支援を推進する中で積極的に取り組んで行きたい。

食育の推進 計画を立て全町的に 取り組んでは

問 平成十七年に食育基本法が施行され、徳島県では推進計画を立て食育を推進している。全町

的な取り組みとして行政や学校、住民、生産者などが連携し推進計画を立てる必要があるのでは。

答 福祉課長

県の推進計

画に沿って地域の特性を生かした取り組みを進めて行くが、将来的には勝浦町でも推進計画を策定する必要があると考えている。



谷添教育委員会事務局長



民営化が検討されている保育所（横瀬）

答 教育委員会事務局長

社会総合大学で食育をテーマにした講演を取り入れたい。

建設業者の 現状と課題

問 公共事業費は毎年減少し、町内の建設業者も苦境に立たされている。最近の登録業者数と工事請負額は。

また、ダンピング対策や工事の品質向上に一定の効果がある総合評価方式による入札の予定は。

答 産業建設課長

近年、業者数は減り続け、今年度は土木が三十七、建築は十四業者になり、工事請負額は平成十八年度決算においては四億円程度になっている。

また、総合評価方式の入札については、県からの要望もあり今年度に一件、試行的に簡易型の総合評価方式の入札をする予定である。

保育所民営化

保育内容の低下にならないか

責任を持って対応(町長)

井出美智子議員



問 子育て支援に対する国の予算が大幅に増えると発表されている。最近の国の子育て支援の方針は、勝浦町行政改革推進プランが策定された時とは変わってきている。過疎地域では民営化すると、採算割れによって保育内容の低下や存続が危ぶまれる可能性もある。民営化には慎重

に取り組みべきではないか。

答 町長

保護者や関係者に説明会

を開き理解を得たい。保育内容の低下を招くことのないよう、責任を持って取り組んで行きたい。

今後の

子育て支援策は

民営化により捻出される財源で一層の充実を図る (福祉課長)

問

福島県の人口八千五百人の村では、人

口一万人をめざして、様々な子育て支援施策に取り組んでいる。町づくりのビジ

ョンのなかで子育て支援をどのように位置づけているのか。

答 町長

活気と活力ある町づくり

の中で、子育てしやすい環境作りに取り組んで行きたい。厳しい財政状況のなかで民間活力をいかして、保育所の民営化を進めて行きたいと考えている。

答 福祉課長

民営化する

と、約二千万円の町費の軽減

減になり、捻出される財源で一層の充実を図る。

小規模工事希望者登録制度の実施を

問

「仕事がない」という建設労働者の声が発注する小規模な契約において、入札参加資格のない業者でも契約することができる。「小規模工事希望者

答 産業建設課長

百三十万円以下の工事は随意契約が可能であるが、品質および安全面で、どのような資格を持っているかわからないため、小規模な工事についても登録業者にお願している。

町発注の工事に参加希望の業者は、これまでどおり必要な手続をしてもらう。



倉坪産業建設課長

登録制度」を作ってはどうか。全国の三百五十六自治体で実施されている。勝浦町でも取り組むべきではないか。



子育てしやすい環境づくりを (スヤスヤお昼寝中)

一般質問

新年度予算

何が重点か

生活直結を優先に (町長)

西浜勝己 議員



道、南部農免道事業で前年並みを確保。林道は前年比九十%。地籍調査は増額を要望したい。

答 住民課長

クリーンセンター

ンター解体処理事業費に約七千万円必要である。

答 病院事務局長

医療機器の整備、エレベーターの改修、病院運営方針の策定などである。



前田病院事務局長

答 参事

予算編成行程は、現在各

担当部局で作業を進めており、一月中旬に要望書を締切り一月下旬から二月上旬に査定を実施し、二月二十日ころに県と協議し三月定例会に提案したい。

答 町長

予算規模は前年度並みの

三十億円程度と考えており、住民生活に直結したものを優先にしたい。

また、クリーンセンター解体処理事業費を基金積み立てとして計上したい。

保育所民営化 内容以前の問題だ

答 町長

予算を尊重し提案した(町長)

問

三月定例会の所信表明で一言もふれていなかった「保育所民営化問題」、「道の駅」について突然提案してきた。思いつき行政では。

重要問題を事後報告するのは、内容以前の問題だ。

答 町長

保育所民営化は、行財政

改革プランで盛り込んでおり、検討委員会の答申を尊重し提案した。

「道の駅」については、従来は国道でなければ該当しないと認識していたが、県からの指導もあり県道でも可能と判断したので取り組んだ。

有害鳥獣

対策を急げ

近隣市町村と協議

(産業建設課長)

問

有害鳥獣被害で農家は悲鳴をあげている。近隣市町村も含め掃討作戦や予算化も必要だ。

答 産業建設課長

近隣市町村との協議の場を設けたい。

また、予算についても県の動向を見ながら効果的な方法を考えたい。

問

交付税等の一部見直しだがマスコミで報道されているが、新年度予算の規模と予算編成の作業工程は。

また、産業建設課及び住民課の継続事業の見直しと病院の新たな事業は。

答 産業建設課長

継続事業は、東部広域農



解体処理が必要なクリーンセンター

はばだけ！ ちびっ子アスリート

生比奈少女バレーボールクラブ

新春のアスリートは、生比奈小学校の「少女バレーボールクラブ」です。笠木監督のもと昨年の勝浦大会では優勝しました。クラブ員12名を代表してキャプテンの石花会梨奈さんにインタビュー。



石花キャプテン

- Q** チームカラーは
A レッド(赤)です。
- Q** キャプテンのモットーは
A 「こころ一つに」みんなで明るく楽しく。
- Q** 勝利へのかけ声は
A 「生比奈ファイト」。
- Q** 楽しいときは
A チーム一丸となったとき。
- Q** 昨年の戦績は
A 勝浦大会優勝、那賀川大会準優勝、富岡大会準優勝。
- Q** 今年の目標は
A 笑顔と大きな声を出し勝利すること。



全員で
パッチリ

【後列】丸田佳代子 平井成美 鶴代奈月 太田 茜
【中列】加々美茉奈 梅山虹穂 石花会梨奈 森 也実
【前列】前田芹捺 倉橋京子 大西舞流 大西桜花

練習日時

- ◎毎週 月・水・金曜日
◎生比奈小学校体育館
午後6時から8時まで
【入部等の問い合わせは】
石花宅 ☎0885-42-3798まで

● 監督から一言 ●

バレーボールを通じて、あいさつや礼儀を学び、コミュニケーションを大切にし勝つ喜びや負けた悔しさを知り、明るく元気に楽しんでほしい。



平成元年に生まれた町の宝が、二十歳の春を迎えた。成人式で初々しさの笑顔に見とれながら自己紹介を聞き、それぞれが将来を見据え、夢を持って行動しているなと強く感じた。

私たち団塊の世代に、そこまでの想いがあったかどうか。「おめでとう」と声をかけながら、勝浦の未来に夢を託す。

くしくも今年には「子の年」。十二支のトップランナー「小さな知恵者」の登場である。

この節目の年を迎え「議会だより」のイメージ一新も考えておりますので、ご意見をお寄せください。

(一治)

編集後記

